

今回の石造遺物は、広瀬町特集ですが、過去のNO.でも取り上げた広瀬町の偉人、天阿上人に関する石造遺物についてまとめてみました。

資料：竹林文平氏（広瀬町）
・茅広江百話

27 自伝の石

場所 広瀬町西名小路
時代 寛政12(1800)年

広瀬の共同墓地にある天阿上人の墓地の左前にある石には、石の全面に上人の自叙伝が刻まれている。「天阿上人は久居野村、北住祐西の子として生まれ、13歳にて出家し、17歳に小石川の山に入り、後に栃原に寺を建立し、後に御麻生園の寺の住職になり、後に（広瀬の）永正に移り、百両で寺を建て、五十両で18か所に古跡を立てた。京に五重授戒の道場を開き、弟子は二千人をこえた。云々・・・」と刻まれている。



28 舟場六字名号碑

場所 下茅原
時代 江戸時代

津留の渡し舟は古くから参宮街道の中でお有名であった。「お伊勢参りして、こわいとこ、どこか、飼坂、櫃坂、鞍取坂、つるの渡しか、宮川か」と謡われた櫛田川下茅原から津留の渡し舟。茅原側すぐ上に六字名号碑「南無阿弥陀仏」が立っている。この地の僧、天阿上人の建立である。この六字名号碑の立っている所は方々にあるが、いずれも昔、難所であった。渡し舟はどっしりとしていて、自転車も共に乗せて渡った。しかし川水が増水すると、舟止めとなってしまふ。車が多くなって、橋が架けられたので舟の難所も解消された。



29 永正寺の六字名号

場所 広瀬西世古
時代 江戸時代

天阿上人は六字名号碑を櫛田川筋に18か所建てたと伝わる。先に述べた下茅原の舟場、御麻生園、庄、阿波曾、丹生で確認されている。永正寺のこの碑もその1つである。また、掛軸、書画、彫刻など貴重な遺物が、永正寺、西導寺、帰命寺の他、旧家に所蔵されている。



30 説法と上人の手形石

場所 広瀬墓地
時代 江戸時代

墓地脇の石に説法と上人の手形が彫られているが、よく見ると手の平に「天阿」と刻まれている。石には「病の人とてもすべて決定(けつじょう)して念仏すれば 必ず浄土へと参る この塚にの念仏を申すべし 契約すべし 仏は人を守り玉わん」と刻まれている。



31 厄落とし観音

場所 広瀬森ノ下
時代 天明6年

広瀬字森ノ下、根木峠を下ると「右にふ、左にざわ道」の道標の立っている分かれ道沿いの小堂に、観音さんが祀られている。御神体は親指大の水晶石である。これは天明6(1786)年天明の大飢饉により疫病が大流行したとき、厄払いのために天阿上人が勧請されたものである。毎年初午に厄年者を中心に近郷近在からのお参りも多く、大変にぎわっている。御堂の小さいわりに上がり物の多い観音さんである。



茅広江さとだより

茅広江住民自治協議会
会長 小塩 正明
令和7年2月発行

「茅広江さとだより」発行にあたって

「茅広江さとだより」発行にあたって、一言ご挨拶申し上げます。平素は茅広江住民自治協議会の活動に対し、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。令和6年度の住民自治協議会の行事も市民体育祭、ふれあいまつり、ふれあいウォークラリー大会などの大規模イベントのほかに、皆さんにお渡ししました茅広江住民自治協議会の活動計画に従ってそれぞれの活動を実施してまいりました。

市民体育祭では、朝早くから準備をしていただき、午後の競技では、地域の方々とともに役員も昨年度と同様、紅白に分かれ楽しみながら競技をし、参加賞を受け取っていただきました。今年度は、保育園の運動会と市民体育祭を分け、準備や競技を1日で終わらせることにしました。役員の皆さんには、1日で終了してよかったとの評価もいただきました。

ふれあいまつりでは、作品展示やゲーム、農産物の品評会や即売、焼き芋の販売、JA みえなかいざわ支店の方々の青果物の販売などのほかに、今年度は焼きそばや豚汁の販売なども再開し、たくさんの方々に来ていただきました。ただ、花苗や農産物の量が少なかったのが残念だったとの声もありましたので、来年度以降の課題とします。

ふれあいウォークラリー大会では、7年ぶりに上茅原のコースで行いました。137名の方々に参加していただきました。グループや家族で出発し、クイズや宝探しを



しながらゴールを目指しました。ゴール近くでは、坂道があり大変でしたが、「ぜんざい」が疲れをやしてくれたのではないかと思います。また、上茅原を改めて知っていただいたのではないのでしょうか。ゴールした後の皆さんの交流もあり、楽しいひと時となったことでしょう。上茅原の皆さんには大変お世話になりました。

助け合い組織「ちひろえ」の活動では、庭の草刈りや垣根の剪定などの依頼があり、喜んでいただきました。もっとたくさんの方々に利用していただきたいと思いますので、ご希望の方は各自治会長や茅広江住民自治協議会までご連絡ください。

「サル追い隊」の活動では、携帯電話のラインを使って、少しでもサルの被害を少なくできないかとラインの研修会を実施し、47名の方々にグループに登録していただき、サルの情報を共有できるようになりました。そして、被害を少しでも減らせるよう追い払いに活用しています。また、松阪市の元気応援事業に応募し、受信機の購入や視察研修に活用できる費用をいただきました。皆さん一人ひとりの活動でサルによる被害を減らしていきたいと考えます。ラインの登録やサルの追い払いにご協力をよろしくお願いします。

住民自治協議会の活動では、茅広江の活動はすごいとの評価も聞きますが、皆さん一人ひとりの活動がこの地域を盛り上げる原動力になると考えています。たくさんの方々にいろいろな活動に参加していただきたいと思います。



自治会部会

各自治会相互の連携の場として位置付けています。月々の「まちづくり会議」の中で大半の課題は話し合いを行っており、環境美化活動や各自治会の防災訓練などの情報交換もしています。

11月23日には、南ブロック自治会長等研修会が射和地区市民センターで行われました。大石、茅広江、射和の住民自治協議会の取り組みについて発表し、交流を行いました。茅広江は、助け合い組織「ちひろえ」、「つばなっ子を育てる会」、「茅広江猿追い隊」のことを発表しました。3つの住民自治協議会ともそれぞれ特色ある取り組みがあり、今後の活動の参考にしていきたいと考えています。

健康福祉部会

地域の少子高齢化・人口減少の進む中、健康・ふれあい・助け合い・見守りづくり等が、必要です。今年度の活動について、市民体育祭は午前中の準備、午後からの競技で、天候にも恵まれ160名が参加、団体競技は紅白に分かれ勝敗を競い皆さんに楽しんでいただけました。ふれあいウォークラリー大会は、久しぶりに上茅原地区で開催され、小さなお子様から80代までの137名が参加し、クイズ・宝探し・交流を楽しみながら無事ゴール。用意されたおいしいぜんざいをいただきました。高低差や神社の階段に苦戦したとか、上茅原を初めて歩き「いい所やなあ」との感想も聞かれました。見守りネットワーク活動の花の配布は2回、要配慮者食事サービスは3回、楽しみに待って、元気な笑顔で「ありがとうございます！」をたくさんいただきました。80歳以



上の敬老者への紅白饅頭の配布、茅広江グラウンドゴルフ大会は2回で72名参加。ひまわり会（3地区の高齢者の交流の場）活動24名、在宅介護者のつどい27名、健康ウォーキング2回で52名の参加がありました。3月のボッチャ体験教室を残し、今年度の活動計画は無事終了できそうです。事務局、役員、地域の皆様は、各行事・活動にご協力を頂き、誠にありがとうございました。また参加いただきました地域の皆様、来年度もよろしくお願いいたします。

環境・安全防災部会

環境・安全防災部会では、ササユリの保護活動、ホタルの生息調査、花いっぱい運動、水質検査、環境美化活動、三地区合同放水訓練、防災訓練等を行いました。

5月26日、部会員8名でササユリの生育状況を下茅原神社周辺で行いました。山の土手、登り口等に20本以上咲いていました。上茅原のササユリは1箇所は良い状態ですが、他の箇所は草刈りをしてくださる方が、高齢化に伴い、特に傾斜地の保全が難しくなっています。場所により鹿や猿に食べられていました。広瀬は大池周りに数本咲いていました。7月には下茅原でホタルを保育園前、神社周辺で50匹ほど見かけたという方もいました。7月7日、花いっぱい運動では日々草、マリーゴールドの苗植えを行いました。三地区で各8個ずつプランターをそれぞれの場所に設置しました。8月4日、環境美化活動があり、271名の方々の参加がありました。今年の夏は猛暑で、その中で皆さんご協力ありがとうございました。8月23日、水質検査を保育園の下六呂木川、津留橋上流の櫛田川の2か所で行いました。



10月26日、松阪市防災訓練、非常時炊き出し訓練があり、228名が参加しました。各自治会の炊き出し班が味ご飯を作りました。11月17日、花いっぱい運動では、パンジー、ビオラの植え込みを行いました。12月8日、環境美化活動は240名の参加者がありました。年2回の美化活動、ご協力ありがとうございました。各種行事に関して、役員の皆さまほか、たくさんの方々にお世話になりました。次年度もご協力のほど、よろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。追伸、8月に行われていた川遊びアンド生き物調査は、近年、台風、猛暑による影響で中止になっていましたが、今後、実施可能な他の催しを考えていければと思います。

地域振興部会

地域振興部会では、園芸教室を年2回、広報紙発行を年2回、6月3日にサツマイモの植え付け、200本をつばな保育園児と先生、役員でにぎやかに楽しく植え付けました。8月は夏祭り協賛事業が各地区でありました。また、教養講座としてLINE学習会を実施しました。

10月25日はサツマイモ掘り収穫体験を、つばな保育園児、先生・役員で行い、「大きなサツマイモやな」とワイワイにぎやかにはしゃいでいました。11月17日のふれあいまつりは、天候も良く、300名の参加をいただき、にぎやかに行われました。保育園児、小中学生の作品展示、農産物の品評会・即売、豚汁や焼きそば、花苗、焼芋の販売など、盛りだくさんの内容でした。地域の方々にもたくさん来ていただき、盛会のうちに終えることができ、ありがとうございました。JAいざわ支店の皆さん、実行委員の皆



さんほか、たくさんの方々にお世話になり、ありがとうございました。

教育文化部会

教育文化部会では、年度計画に沿って活動を進めてきました。食生活改善推進員による健康食料理教室を2回、つばな保育園児とさつまいものつるを使ったリース作りなどの交流が2回、ミネストローネ、豆腐チョコムースを作ったこども料理教室、講師による保育園児との陶芸教室を2回、また、ものづくり教室も行いました。そして、8月には41名参加のボウリング大会、9月には76名参加の南地区グラウンドゴルフ大会を開催しました。公民館教室の4講座（小筆クラブ、ちひろえレストラン、ちひろえ元気クラブ、グラウンドゴルフクラブ）も高齢化が進む中で、元気に活動しています。楽しく一緒にやってみませんか。いつでも募集中です。

さて、7月に予定していた相可高校料理教室は、多くの皆さんが楽しみにしていた催しでしたが、実施できませんでした。教養講座は、Mブリッジの濱田さんを招いて、グループラインへの参加方法を学習しました。これにより、三地区が連携してサルの位置情報、被害状況などを共有して連絡しあい、いち早く対応できるようになりました。地域振興部会と連携して、現在、47名が参加しています。社会見学は、今年度は中止しましたが、復活を希望される声も数多く聞かれました。さらに、川遊びアンド生き物調査も、夏休み中の子どもたちが楽しめる活動ができないものかとの声も出ています。次年度に向けて、検討していきます。この一年間、多くの皆さまの参加、ご協力ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

